

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.90

### H29.10.3 「秋季避難訓練」

2度目となる今回の避難訓練は、地震による火災発生という想定で実施しました。まずは、地震から身を守るための「シェイクアウト訓練（姿勢を低くし、頭を守り、揺れが収まるまでじっとしている）」を行い、その後、火災現場から回避するための集団移動へと移行する設定です。



雨こそ降っていませんでしたが、外は肌寒い気温。それでも、生徒たちは三原則を守り、迅速に安全な場所へと避難しました。

災害はいつどのような形で起こるか予測できません。いざという時に慌てることなく冷静な判断をすることが肝要ですが、日頃からそうしたことを意識していなければ、なかなか思うようにはいかないのが現実です。訓練で「やらされている」というのではなく、自分自身でこうなった時には「どうする」という能動的な危機管理意識をしっかりと身につけることが大切です。

災害はいつどのような形で起こるか予測できません。いざという時に慌てることなく冷静な

All for one, and one for all. No.91

### H29.10.5 「進路説明会」

1年次生を対象に進路説明会を実施しました。進学専門の外部講師から「1年次で取り組むべきポイント」についての講義を受け、その後、進路目標決定への道筋とそれに向けた学習計画について進路指導部から話をしました。

まだ早いように思われるかもしれませんが、「進路」という言葉の意味や将来の職業観を考えるのは、まさに1年次でなければ間に合いません。3年間という高校生活は決して長くはありません。というのも、子どもたちにとってやるべき事があまりにも多いからです。

1年次のうちにやっておかなければならないことを確実にやっておくことが肝要であり、進路目標の実現はその積み重ねから生じるものだと考えます。



また、本校では保護者の皆様にも同様の内容をご理解いただきたく、夜の時間帯に「保護者向けガイダンス」も併せて実施しました。お忙しい時間帯でしたが、多くの皆様にご来校いただき大変有意義な時間にすることができました。

今後も「ガイダンスの充実」には一層力を注いでいきますので、保護者の皆様にも積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

All for one, and one for all. No.92

**\*エイリョウ・アラカルト 「ダンス同好会が本格的に始動！」**

ダンス同好会が昼休みを活用し、一回ロビーで日頃の成果を披露しました。結成されてまだ半年ですが、テンポに合わせたきれきれのダンスは見る者を魅了します。

「ダンス」は体育の授業にも取り入れられ、リズムに合わせて体を動かすことは精神的にも肉体的にも良いとされています。音楽に合わせた動きを創作するだけでも難しいことと思いますが、皆で考え創り出していく過程に、想像以上の喜びと充実感があるようです。

子どもたちの才能は様々な場面で発揮されます。その力が自信となり、やがて全く別の場面での成長へと繋がっていくものです。それを引き出していくのが「教育」と考えます。



All for one, and one for all. No.93

**H29.10.6 「見学旅行説明会」**

2年次生の見学旅行がいよいよ間近に迫ってきました。280名もの生徒が行動を共にすることから、安全面を第一に周到に準備を進めているところです。

同時に、保護者の皆様にもその内容を共有していただき、安心して送り出していただくよう、このたびの説明会を実施しました。



「見学旅行」は高校生活最大の行事であるとともに、生徒たちにとっては生涯忘れられない思い出となります。万全な安全対策はもちろん、研修目的をしっかりと果たし、かつ仲間との絆をより深める楽しい思い出になるよう計画しなければなりません。

そのため、決まり事やお願い事も多岐に渡りますが、趣旨をご理解のうえ、本校方針へのご協力も重ねてお願いいたします。

All for one, and one for all. No.94

**\*エイリョウ・アラカルト 「学校説明会で生徒が大活躍！」**

9月30日と10月7日の2回に渡り「学校説明会」を実施しました。休日にもかかわらず、多数の生徒が協力してくれたおかげで、とても温かく手作り感のある素晴らしい学校説明会となりました。

受付、進行、学校紹介など、わかりやすく丁寧な言動に、改めて本校生徒の大きな力を感じます。

また、歓迎の吹奏楽局の演奏にも心がこもっており、来校された方々に大きな感動をもたらしたことでしょう。多くの中学生の皆さんが本校への入学を希望してくれるといいですね！



## H29.10. 7 「オータムコンサート」

吹奏楽局が恒例の「オータムコンサート」を市民文化会館大ホールを会場に開催しました。多くの関係者や吹奏楽ファンの皆様にご来場いただき、熱気に包まれながら無事終了することができました。

3年生にとっては運営する最後のステージということもあり、最初から最後まで素晴らしい演奏と演出を見せてくれました。ここまで仕上げるための「とてつもない努力」と、会場溢れんばかりの観客を魅了する「妥協のない取組」に、心から敬意を表します。



吹奏楽局は、今回のコンサートに先立ち、高等学校吹奏楽コンクール全道大会で「金賞」を受賞、さらにマーチングバンドフェスティバルでは最高賞に輝き、全国大会への出場を決めています。日頃の練習の積み重ねが多く音楽関係者に認められたことを大変嬉しく思います。

3年生はこのコンサートで一旦引退となりますが、高校生活でやるべき事はまだまだ沢山あります。残された日々を大切に、これまで培ってきた「大きな力」を自身の進路目標達成に繋げられるよう頑張り抜いてください。心から応援しています！

## H29.10. 7~9 「男子バスケットが優勝の栄冠！」

高体連支部秋季大会で男子バスケットボール部が初優勝の栄冠を手に入れました。富良野、旭川東、旭川工業、旭川大学とバスケットの名門校を破っての優勝に、心から拍手を贈ります。

特に今大会で「最優秀選手賞」に輝いた 2年 成田 優也君は、中学時代の怪我のため、1年をほぼリハビリに使ったという苦労人。それだけに今回の受賞は私たちにとっても嬉しいニュースとなりました。

校長室に来てくれた成田君の言動に触れ、人物としても「最優秀賞」を手にする模範的人材に成長してくれる生徒と確信しました。



## \*エイリョウ・アラカルト 「受賞作品名は『植物人原』」

全道高等学校美術展・研究大会において、2年 鈴木 美里さんの「植物人原」が全道優秀作品賞という大きな賞に輝きました。作品は「植物と人」がモチーフになっており、中央に描かれた「心臓の中に横たわる少女」、また「それを取り囲む様々な植物が意味する

花言葉」、さらには「上下に生死を感じさせる対照的な手」など、幻想的であり、観念的であり、かつ優しさをも感じさせる作風となっています。魅力的な作品であると同時に、



作品名が「植物人間」ではなく「植物人原」となっているところに、鈴木さんの持つ哲学を感じます。

主にボールペンを駆使し、制作に約1月半をかけたというこの大作は、幼い頃から絵に関心を持ち、芸術を深く理解しようとする鈴木さんだからこそ完成させることができたのでしょう。

「楽しく描いた絵を多くの人に観てもらい、自分の思いを多くの人に伝えられ、多くの人に高く評価してもらえたことが素直に嬉しい。」と、終始穏やかに語ってくれました。

かけがえのない素晴らしい才能がさらに大きく開花し、これからも沢山のの人に感動を与えてくれることでしょう。

**All for one, and one for all. No.98**

#### H29.10.17 「後期生徒総会」

生徒会新執行部による活動が始動しました。最初の仕事となる「生徒総会」では、新体制による1年間の事業計画が説明され、大筋合意を得られたようです。要望や意見などには、売店のポイント制や永嶺オリンピック等の話題もあり、今後役員での検討が行われることとなります。

前執行部は、旧凌雲高校から新永嶺高校への移行1年目ということもあり、名称や生徒数の変更に伴う生徒会行事のあり方に随分苦慮されたことと思います。にもかかわらず、全校生徒の要望を受け入れながら充実した生徒会行事を円滑に運営してくれたことに心から敬意を表します。

新しい執行部の皆さんには、これまでの取組をさらに発展させ、「永嶺の特色」をしっかりと打ち出せる生徒会を作り出して欲しいと思います。

また、在校生の皆さんには、「より積極的に」「より主体的に」学校運営に関わってくださることを大いに期待しています。



**All for one, and one for all. No.99**

#### H29.10.19 「第2回南永山駅舎清掃」

生活委員が中心となり行っている環境美化運動。今回は「駅舎清掃」です。南永山駅は登下校で沢山の生徒が利用させていただいています。日々の感謝の気持ちを込めて、毎年2回駅構内の窓ふきやゴミ拾いを行ってきます。

今回は1・2年次生の生活委員を中心に約30名の生徒が参加し、周辺や構内をきれい

にしてきました。



奉仕活動は、「豊かな心」を育みます。これは子どもも大人も変わりません。自らの手で、自らの街をきれいにすることは当たりまえのことなのですが、人は体験によってその大切さを身につけていきます。

本校では、「郷土を愛し、他を思いやる豊かな人間性の育成」を教育目標の一つに掲げています。様々な場面を通して、少しでも地域に貢献できる活動を今後も続けていきます。

All for one, and one for all. No.100

### H29.10.21 「どさんこ☆子ども全道サミット」

北海道教育委員会が主催する「どさんこ☆子ども全道サミット&子ども上川地区会議」が、本校を会場に行われました。全道15会場に分かれ、小・中・高・特支の児童生徒さんをはじめ、保護者や教師の方々も一堂に会し、「いじめ根絶」に向けた取組や対策について意見交換が行われました。会場はすべてネット回線で結ばれ、別会場とも意見交換ができる画期的な事業です。



本校からも多数の生徒が参加し、各討議の司会や進行を手伝わせていただきました。いじめは絶対に許されない行為であり、こうした事業への参加を通して、本校生徒も日頃から様々な取組を進めてくれるようになりました。

この全道サミットや地区会議の様子も生徒会広報誌を通して全校生徒に伝えられ、「いじめのない永嶺高校」を呼びかけてくれることになっています。さ

すが生徒会！

午後から行われた「いじめ・ネットトラブル根絶！メッセージコンクール」表彰式では、標語部門で、2年生の本間 啓那さんが「最優秀賞」、秋場 奏一郎君が「奨励賞」を受賞し、上川教育局長様から直接賞状が手渡されました。二人はこの受賞に驚いていましたが、標語からは、いじめを絶対に許さないという強い思いが伝わってきます。この標語についても、今後全クラスへの掲示が予定されています。

【最優秀賞】 「見てるだけ あなたもいじめの 共犯者」

本間 啓那さん

【奨励賞】 「勇気だし 踏み出す一歩が 友救う」

秋場 奏一郎君



## H29. 10. 24~28 「見学旅行」

まだ10月というのに早くも積雪、加えて季節外れの大型台風と不安材料を伴っての「見学旅行」となりました。もちろん、事前にあらゆるケースを想定し、生徒の安全対策をいくつも携えての出発です。

出発日早朝、前日の積雪はほぼ融けていましたが、身震いする程の気温。それでも遅れた生徒は一人もなく、予定どおりの出発となりました。千歳に着く頃には気温も上昇し、最初の目的地名古屋では汗ばむほどの快晴が待っていました。



名古屋城をあとにし、奈良へと移動。宿舎で疲れを癒やした翌日は、奈良公園で鹿と戯れ、東大寺の大仏に圧倒され、春日大社の艶やかさに魅せられました。その足で宇治に向かい、あの10円玉でも有名な平等院鳳凰堂の美しい景観を堪能しました。



恒例の平和教育では立命館大学国際平和ミュージアムを訪れ、谷川 佳子 氏のご講演「平和の大切さ」に感銘を受け、さらに清水寺をバックに全生徒一堂に会しての壮大な写真撮影。生徒の旅を満喫した表情が実に楽しみです。



グループ研修では、京都見学、大阪見学など、事前の研修プランやアクセス情報を駆使し、時間配分を計算しながら、有意義な時間を過ごしました。

また、ディズニーリゾートでは、ディズニーランドとディズニーシーに分かれ、お目当てのアトラクションやグッズ買いを堪能しました。

最終日の東京研修では、入り組んだ地下鉄をいくつも乗り継ぎ、目的地を一つずつ制覇。

都心の混雑ぶりを体感しました。



歴史や伝統には、人の智恵や深い感情、あるいは魂が宿ります。祖先がどのように生きて今の日本を築いてきたのか、それを紐解くヒントが沢山隠されています。私たちはその歴史や文化に直に触れ、多くを感じ、学び取ったことを念頭に、新たな日本を創造していかなければならないのです。